

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和3年12月15日

事業所名 コペルプラスジュニア福山蔵王教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	3		開校して間もないため、今の利用人数では評価は難しい。
	②	職員の配置数は適切であるか	2	2	1	適切な配置数を保っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	1	段差のある教室が一部屋あるので、怪我の無いように声掛けをしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2		3	記録や口頭での情報共有だけでなく、職員間で話し合いの場を設けて支援方法を考えている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1		保護者からの意見を元に話し合い、改善を行っている。今後も保護者の声に耳を傾けていきたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		3	2	今回が初めての実施。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	1	(第三者評価実施なし)
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			毎回行うヨガは前回と被らないように配慮し、プリント類でも色付けや内容を変更し、工夫を加えている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2		プログラムが決まっており、その内容に沿って個別支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	2		現在は個別レッスンの希望が多く、集団でのレッスンの声掛けを月末のコミュレ時にしている。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	3		朝礼で役割について確認を行い、気になった点については職員間で共有している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	3		レッスンの様子を記録に残し、口頭でも情報共有をしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			毎回のレッスン後に必ず記録を書き、情報を共有している。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			少なくとも6ヶ月に1度カンファレンスとモニタリングを行い支援計画の見直しをしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	2		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2		実施される場合は、児童発達支援管理責任者が参画する。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		3	2	必要に応じて、今後連携をとっていきたい。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	3	医療ケアを必要とする利用者は現時点ではない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		2	3	必要に応じて、今後連携をとっていく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		3	2	今の所、該当者なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	2	オンライン等で研修がある際には、研修を受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			5	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		1	4	

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1		利用時間の最後に振り返りの時間を設け、当日の支援内容や今後の課題について話している。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		1	4	ペアレント・トレーニングの実施に向けて準備している。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時に説明を行っている。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1		保護者の話を聞いて共感することに注力し、求められた時には、適切な助言を行っている。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			5	
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1		職員間で改善策を話し合い、実施している。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	1	教室内に行事予定などのお知らせの紙を掲示している。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	5			個人情報には鍵付きの書庫に保管し、取り扱いには十分に注意している。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			5	
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		各マニュアルを設置している。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		1	4	
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2		研修を受け、適切な対応が出来るように備えている。
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	3		契約時に説明を行っている。

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		1	4	教室での飲食はない。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		1	4	作成した事例集を確認している。

# 保護者様からの放課後等デイサービス事業所評価表の集計結果(公表)

公表：令和3年12月15日

事業所名 コペルプラスジュニア福山蔵王教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	0	0	まだ新設されたばかりで、先生の数は多いが専門性については疑問に思う点もある。 もう少し他教室での研修や本部での研修を充実させて、先生の専門性を向上させてほしいです。	現在、施設内研修を含め、様々な研修を受けています。引き続き、研修を充実させ、専門性の資質向上に努めてまいります。と思っています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	1	0		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	5	4		
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>1</sup> が作成されているか	15	2	0		
	⑤	活動プログラム <sup>2</sup> が固定化しないよう工夫されているか	15	2	0		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	7	9		
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	0	0		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	2	0	新設教室で新たに採用された先生も多く、コペルでの指導に慣れておらず、共通理解できていないように感じることもある。	日々のミーティング等において、職員間が共通の見解を持って療育に臨めることができるよう一層努めていきます。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	2	0		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	8	9		
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	5	0	教室の指導体制や先生同士での情報共有など、先生に相談した結果、すぐに責任の方が対応していただきました。	何か気になることがございましたらお気軽にご相談ください。すぐに回答できないこともございますが、ご相談内容は職員で共有のうえ、ご回答させていただきます。

	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1	0	この点に不安があり、相談したところ、改善していきの話があり、まだ日にちが経っていないので、どちらとも言えない。	細やかな対応を心掛け、改善につながるように、最善を尽くしてまいります。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	7	0		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	16	1	0		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	5	0		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	7	4		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	14	1	1	行くことを嫌がりませんが、楽しみにしているところまではきていません。	どうしたら、通所を楽しみにしてくれるかなど、環境づくりやレッスン内容を試行錯誤しながら考え、魅力を感じてもらえるように工夫をしています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	14	1	1	今後の先生たちの発達支援の専門家としての深い理解を期待しています。	ご期待に添えるように、職員一同精進してまいります。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。